令和8年11月5日
令和8年度松戸健康福祉センター運営協議会
松戸健康福祉センター（松戸保健所）長　竹内公一

千葉県松戸健康福祉センターの主要事業等についての説明の補足資料
（当面の課題・取り組みの進捗）

健康危機管理　地域のトラブルへの対応

課題		当面の課題・取り組みの進捗
災害対策	DHEAT関連 災害時健康危機管理支援チーム	派遣要員養成→所内のDHEAT要員の組織化 受援体制整備→災害時の所内の配置 国・県の体制や計画を踏まえた取り組み
	平時の取り組み	各市の計画の確認→名称・用語・想定の変更の周知 備蓄薬品等の管理・提供訓練 災害時体制および災害マニュアルの見直し
新興感染症		対処計画策定支援　医療機関との訓練
感染症	麻疹等への対応 多剤耐性菌対応	医療機関の連携促進　初動の現地対応と所内連携 関係者向け定期配信感染症情報　対策会議の充実
結核	高齢者	併存症への配慮→診査会での踏み込んだ検討 家族への支援　地域包括ケアとの連携 地域コミュニティ・高齢者施設への支援
	外国人 国外出生者	コミュニケーションの工夫（「優しい日本語」・DX） 広域的対応・他都道府県との連携・調整 学校・職場等との連携体体制強化
食中毒		広域の調査　予防・リスク管理のための指導の重視
薬物	毒物・劇物管理	事故予防のための体制整備の支援 事故発生時の迅速な初動　関係者との連携
動物愛護		飼い主のメンタル面への配慮した所内担当者間の連携 地域の組織との連携
無届・無許可の営業 必要な手続きの放置		通報や相談への迅速な対応
職能団体との連携		活動の見直し・活性化　好事例の共有
こころのケアの複雑化		個別のケアの継続性のための関係機関の調整 警察等との連携強化　保護観察所との取り組み 「にも包括」の推進と調整
障害者への支援		合理的な配慮についての啓発 関係者が話し合う環境の支援
相談事業	虐待・DVへの対応	問題の複雑化・長期化への対応　隠れた問題の発見 ケースに対する所内外連携による多角的な分析・支援

医療・保健・福祉の取り組み

課題	当面の課題・取り組みの進捗	
健康増進 健康ちば２１（第3次）	各市の取り組みと連携 地域・職域連携推進協議会→フレイル対策	
母子保健 子育て	各市・医療移管等の取り組みの調整　切れ目のない連携 （特定妊婦　医ケア児、移行期医療支援、就労支援‥）	
第8次医療計画 地域医療構想	地域医療構想調整会議小委員会（小児医療　周産期医療） 資源偏在・各市の制度の違いの調整 周産期の新しい課題への取り組み 病床整備と病床再編のバランス	
立入検査等 医務　薬務　福祉	医療安全等 サイバーセキュリティ	法令改正への対応　体制整備への伴走 サイバーセキュリティの啓発 地域連携の強化にむけた支援

所内の現状

	課題	当面の課題・取り組みの進捗
施設老朽化	改修済み	豪雨台風時に雨漏りなし
文書管理	書類の管理 無駄の解消	文書管理規程遵守の徹底　整理　DX　外注 コストおよびセキュリティ意識の向上
執務環境	空間の確保	大幅なレイアウト変更
膨大な手続き	難病助成事務等 免許　等	業務環境の見直しによる効率化 免許事務のデジタル化に対応
職員の意欲	縦割り解消 外部との連携 柔軟なチーム 業務改善	横のつながりで、縦割りの隙間にある問題に対応 健康危機で全職員が互いに補える体制づくり 組織横断的対応が相乗効果を生んでいる 所内資料活用 スキルの全所的共有 フェーズフリーの危機対策

・　レイアウト変更により、執務環境が改善している。
・　進捗管理を徹底して、業務量超過を可視化し、時間外勤務を減少させている。
・　横のつながりが、仕事の質の向上につながっている。
・　本庁や市、地域団体などとのコミュニケーションが量的にも内容的にも増えている。

相談等のケース対応の中に、長期化や複雑化しているものがあり、組織的な対処や見直しが必要。